

# アルコール依存症の科学

## その2 アルコール

の副作用くされど  
万病のもと



「おい、先生。この抗酒剤っていう薬はいろいろ副作用があるっていうじゃねえか。おれの腹がいたいのもこの抗酒剤のせいじゃねえのか?」確かに副作用がでることもありますよ。体がかゆくなったり。でも、抗酒剤で死んだ人なんて僕は見たことないですよ。アルコールの副作用のほうがよっぽどすごいですよ。なんせ人が死ぬんですから。」

「酒は百薬の長、されど万病のもと」といったのは徒然草を書いた吉田兼好です。アルコールは確かに明るくなる、リラックスする、寝つきを良くするという意味では薬の部分もあります。しかし、その裏に

は何倍もの恐ろしい副作用があるのです。アルコールという薬の副作用の主なものをみてみましょう。

### ↑アルコールの副作用↓

肝臓を破壊します。アルコール依存症の人の3割は肝硬変でなくなっています。

心臓を悪くします。心臓の筋肉や、血管にダメージを与えます。

脳を破壊します。脳みそを縮めて記憶力が悪くなったり、体がふらついたります。脳卒中も引き起こします。








胃を破壊します。アルコールが直接胃の粘膜を破壊します。胃潰瘍、十二指腸潰瘍も多いです。

すい臓を壊します。慢性膵炎や、糖尿病も引き起こします。

神経を破壊します。手や足の先の神経を破壊し、びりびりしびれるように

### 詰将棋の解答

(問題は4分)

-  5三 竜
-  同 飛
-  3一 金
-  2二 玉
-  3二 角 成
-  1一 玉
-  2一 馬 まで
- 7手 詰め

なります。

骨も破壊します。足の付け根の骨が腐ってしまうことがあります。

癌を引き起こします。煙草と一緒にになると、口、のど、食道の癌になりやすくなります。

眠れなくなります。はじめは良いのですが、だんだん眠れなくなり、早くおきるようになります。

うつになります。飲んだ直後はいいのですが、後からうつを引き起こします。ひどい場合には自殺する人もいます。

やめられなくなり。だから、体に悪いと分かっても飲んでしまうのです。悪いと分かっても飲酒運転してしまうのです。酔っ払って、不慮の事故で死ぬ人も多いです。

こんなに副作用がある薬は他にあるでしょうか? あったら教えてほしいものです。

日本のアルコール依存症は一説で約240万。国の損失は、年間6兆6千億円とのこと。さて、これでも「百薬の長」といえますか?

(つとぶぎ共同診療所医師 鈴木 伸)